



長ノ木本坊除夜の鐘の様子。この時は若い参詣者が多く、長い行列ができる。

西教寺報

第101号

仏歴2549 (2006・平成18)年
 3月22日発行
 呉市中央7-7-13
 西教寺蔵本通支坊
 TEL.0823 (21) 2798
 FAX.0823 (21) 2795
 郵便振替番号
 01340-3-29117

品格ある生活

岩崎 正衛(住職)

今年の冬は、地球温暖化の心配がふつとんだかと思われ、曽有の大雪の所が多かったそうです。うですね。六十数年前の昭和十六年十二月八日、太平洋戦争開始の日の朝の、霜柱の立った寒さを思い起こします。

去年(二〇〇五年・平成十七年)の大晦日は、六年ぶりに改修が終わった本堂を開け、除夜の鐘を撞きに来た人に、本堂にあがってお参りしていただきました。若い人が多いのは、ありがたいですが、鐘楼の上から、開け放たれた

本堂を眺めると、さすがに履き物は先にながった人が出船の型(つま先を外へ向ける)に揃えて上がっている。後から上がる人もみなそうしておられました。ところが肝心のアマダさまの前に行っても、みなポケットに手を入れ立ったままアマダさまを見ているのです。私は気が気でないので、「オーイみんな坐つてアマダさまにお礼をしなさい」と、おらびたくてウツウツしている、その中の誰かが一人二人坐つて手を合わせる、なんとみんなそれに釣られて坐つて合掌するので

去年(二〇〇五年・平成十七年)の大晦日は、六年ぶりに改修が終わった本堂を開け、除夜の鐘を撞きに来た人に、本堂にあがってお参りしていただきました。若い人が多いのは、ありがたいですが、鐘楼の上から、開け放たれた

す。私は思いました。人生なんと正しい指導者が大切なんだなあということをやつて寒いのにわざわざ除夜の鐘を撞きに来るのは、みな殆どいわゆる安芸門徒の子弟でしょう。つまり先祖代々にアマダさまを心の拠り所とした念仏生活を送ってきた人たちの子孫です。今は殆ど

す。私は思いました。人生なんと正しい指導者が大切なんだなあということをやつて寒いのにわざわざ除夜の鐘を撞きに来るのは、みな殆どいわゆる安芸門徒の子弟でしょう。つまり先祖代々にアマダさまを心の拠り所とした念仏生活を送ってきた人たちの子孫です。今は殆ど



久々に本坊本堂で行われた修正会ご流盃の様子。

紙 面

品格ある生活：岩崎正衛(住職)	…一頁
水野さん仏式起工式	…二頁
家庭での教育を	…三頁
…佐藤園江(仏婦会長)	…三頁
リーフレット『仏教と憲法九条』	…三頁
…世話人に小泉信江・尾川不二子	…三頁
…菅浦田美子・中道玉枝・斎藤久仁子	…三頁
…法座世話人に古川末子・坂田和子	…三頁
…脇三又工・佐々木信子さん	…四頁
…お礼	…四頁
…法座・行事・例会のご案内	…四頁
…竹岡フミ工・樋口静枝・吉中武雄	…五頁
…末広良文さん	…四頁
…おとりのこし	…六頁
…ご正當報恩講つとまる	…六頁
…連載	…八頁
…ヒルマの野暮は音毛なぐ	…十頁
…お札	…十一頁
…法座	…十二頁